

墨田区議会議員

井上ノエミ

■ 会派代表 井上ノエミからのご挨拶

墨田区議会の会派「新しいすみだ」代表の井上ノエミです。本会派報では、昨年1年間の墨田区議会における会派の活動をご報告させていただきます。

昨年春からの新型コロナウイルス感染拡大の中、多くの区民の皆様はたいへん厳しい生活環境に置かれています。区民の皆様方の生活を守るために、また、区民の皆様が安心して暮らせる墨田区を実現するために、全力で区政の改革に取り組んでまいります。

また、墨田区としても感染予防対策には全力で取り組んでいます。区独自のPCR検査体制も整備されており、1日500件以上の検査は可能になっています。これまで、区内の保育園、学校、学童クラブなどで陽性患者が発見されていますが、その度に濃厚接触者だけでなく、接触者を幅広く検査して感染拡大の防止に努めています。

寒い季節になり高齢者の方の感染も増えていますので、区民の皆様には手を洗う、三密を避けるなどの感染予防対策の徹底をお願いいたします。

飲食業に対する支援策の拡大を!!



現在、区内の飲食店はたいへん厳しい経営環境にあります。そこで働く多くの従業員の方も職場を失う状況です。飲食業に対する墨田区独自の支援策が必要です。

東駒形の有志が「食で医療従事者にエー

ルを送ろう」という活動を実施しました。クラウドファンディングで150万円の寄付を集め、区内の飲食店にお弁当を注文し、同愛記念病院と賛育会病院に全部で1000個のお弁当を届けました。寄付した方は飲食店で使用できる相当額のクーポンを受け取れました。墨田区でも知恵を絞って飲食店の支援策を作る必要があります。

(令和2年9月定例会一般質問)

写真:(山本区長と錦糸町駅でコロナ対策を訴える井上ノエミ議員)

井上 飲食店の現状を考えると現在ある支援策では十分ではない。区の負担で半額の割引クーポンを発行するなどの大胆かつ大規模な支援が必要。また、道路や歩道の使用制限が緩和されて飲食店がテラス席を作ることが可能になった。飲食店がテラス席を作れるように検討してもらいたい。

区長 キャッシュレスポイント還元事業を実施する。今後も感染予防対策を徹底しながら、経営環境強化や販路開拓の取り組み支援をする。テラス席の営業は感染拡大防止に寄与し、賑わい創出にも効果があるので可能性を探る。

令和3年度墨田区予算に関する要望書

墨田区議会新しいすみだは、山本区長に以下の要望書を提出しました

墨田区長 山本亨殿

墨田区議会 新しいすみだ 代表 井上ノエミ

新型コロナウイルスの感染拡大の中、区内の中小企業、飲食店はたいへん厳しい状況におかれています。そして、多くの従業員、アルバイトの方々の雇用も失われています。戦後未曾有の経済的な危機の中に暮らす区民の生活を守るための施策の拡大が今まさに必要です。また、高齢者、ひとり親家庭、障害児者や貧困児童に対するいっそうの支援を要望します。また以下の要望をいたします。

1. 危機的な状況にある区内の中小企業に対する金融支援の拡大
2. 飲食店のテイクアウト・デリバリー事業に対する新たな支援策
3. 行政改革の徹底と既存事業の見直しによる税金の節約
4. PCR検査のさらなる充実と実施医療機関の拡大
5. 医療従事者、介護、保育、学校現場で働く職員のPCR検査の定期実施
6. 高齢者、ひとり親家庭、障害者、貧困児童に対する経済的支援策の拡大
7. 重度の肢体不自由者のグループホームの建設
8. 保育の質の確保のための監督体制の強化と学童クラブの増設
9. 学校におけるオンライン教育の充実

また、国民健康保険、介護保険の保険料は年々あがっており区民にとって大きな負担です。これ以上の値上げをしないためにも無駄のない事業の実施と効率化を強く要望します。

令和2年9月議会定例会一般質問

保育園のオンライン見学会を提案

井上 来年4月の入園に向けて通常であれば保護者が保育園に見学に行く時期がやってきた。コロナ下の状況では保育園も保護者の見学を受け入れるのは難しい。オンライン上で保育園の紹介をすることを考えてもらいたい。

区長 オンラインでの保育園紹介は三密回避に有効なので、まず公立保育園の紹介にあたって動画を活用できるように試験的に導入したい。

保育園と保護者のスマホ連絡用アプリの使用を提案

井上 保育園と保護者は通常は連絡帳というノートを使って連絡をとるが、「キッズリー」・「コドモン」などの連絡アプリが渋谷区などで導入されていて、緊急時の連絡にはたいへん便利と聞く。墨田区の保育園でもこの様な連絡アプリが普及すると保護者にも保育園にも便利になる。連絡アプリを区内の保育園でも使用してはどうか。

区長 連絡アプリを使用している私立保育園はある。公立保育園においても緊急時の情報連絡手段の確保は重要なので、通信環境の整備、費用対効果、セキュリティなどの点を含めて検討したい。

区立小中学校における保護者との連絡アプリの導入の提案

井上 連絡アプリ「コドモン」は小学校中学校用もあり、教員の負担軽減にもなるので導入を検討すべきと思う。

教育長 現在、保護者との連絡には「学校情報連絡メールシステム」を導入している。保護者にスマートフォンの普及が進んでいるので連絡アプリも含めて最適なツールを検討する。

◆墨田区に大学が開校しました!◆

昨年4月に文花地区に区内初の大学である情報経営イノベーション専門職大学が開校しました。4年制大学で定員(1学年)200名です。また本年4月には旧中小企業センターに、千葉大学の墨田サテライト・キャンパスが開校する予定です。今後、2つの大学と墨田区・小中学校・地域社会とのさまざまな分野での連携が期待されます。

(令和2年9月議会定例会一般質問) **井上** 墨田区でも子育て



区長 プログラミング教育について具体的な協議をしている。子育て分野などでも様々な連携の可能性を検討する。

や教育の分野で今後ICT化を積極的に進める状況にある。今年、区内にICT(インフォメーション・コミュニケーション技術)の専門職大学が開校したことはたいへん良かった。この大学との連携は具体的に何か考えているのか。

みどりと花の地域を作る 道路緑化ボランティアになりましょう!!

道路の街路樹の植えてある緑地帯(マスと言います)の緑化・清掃については、墨田区が管理をしています。住民の方が自発的に掃除している場合も多いと思います。道路緑化ボランティアは、この緑地帯内(マス)に自由に四季折々の好みの草花を植えて、区役所に代わって維持管理を行う制度です。

このボランティアは、この「マス部分」に植える草花、肥料などは自己負担になります。また、落ち葉、雑草、ゴミ等の廃棄物処分も行う必要があります。墨田区は、ボランティアが管理する「マス部分」に団体やグループ等の名称が入った掲示板を設置します。

現在、石原地区、立花地区、横綱地区でボランティアが活動しており、「マス部分」に季節の花が咲いています。少しでも多くの草花を地域に植えて、うるおいのある美しい自分たちの町を作るために、この道路緑化ボランティア活動に参加してください。ご希望の方は下記に連絡して登録をお願いします。

登録先: 墨田区道路公園課
計画調整担当(庁舎10階)
電話: 03-5608-6291



重度の肢体不自由者の グループホームの早期の建設を!!

令和2年度 第2回墨田区障害者施策推進協議会
(11月20日)

墨田区は障害福祉総合計画(令和3年~5年)を作成中です。障害者の両親は年々高齢化して親がいなくなったの子供達の将来を心配しています。障害を持った方々が、将来安心して暮らして行ける様に行政・地域でサポートしていく必要があります。そのためにも、以前から要望のある重度の肢体不自由者の方々が共に暮らせるグループホームを早期に実現する必要があります。

井上 ノエミ プロフィール

墨田区議会所属委員会等

- 企画総務委員会
- ひきこもり対策特別委員会
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 障害者施策推進協議会

南米ボリビア生まれ。大学卒業後エコノミストとしてボリビア中央銀行、国連事務所勤務。平成7年に来日。平成21年、NPO法人「日本ラテンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し、理事長就任。平成22年、日本国籍取得。平成23年、墨田区議会議員に初当選。現在3期目。墨田区在住18年。

ホームページ ▶ <http://inouenoemi.com>

ブログ ▶ 墨田区議会議員井上ノエミ